

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	訪問支援チャレンジ			
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～	2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 4月 1日		～	2025年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10	(回答数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員として支援に取り組んでいる職員の背景としてこれまでにスクールソーシャルワーカーや相談支援専門員、学校看護師をやっていた者など配置し、福祉領域から伝えるだけではなく、これまで関わってきたなかで一定の学校文化等を把握する職員が複数いる点。社会福祉士や精神保健福祉士、看護師などの有資格者がいること。	福祉や療育の視点から一方的にお子さんと教職員の方々に伝えるのではなくまず学校等でのお子さんの様子や先生方の視点や関わりを伺い、その状況に応じたアプローチを考察しお子さんのサポートや環境づくりに努めている。	お子さんへの関わりや療育に関する経験や知識を持った職員の育成、増員。 保護者支援。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援希望に対する支援員の人員的な受け入れ限界。	求人での募集も検討しているが、教育機関に訪問させていたき教育機関等に入り支援を行うことのハードルの高く資格や経験があれば誰でも任せられる取り組みではなく採用や採用後の訪問支援員としての活動に慎重になっているため。	ニーズに対応するための増員のため求人の検討や、同法人内で他の事業に取り組んでいる支援員が保育所等訪問支援事業の訪問支援員として活動できるよう児発管やすでに訪問支援員として活動している者が初任者に対して同行指導の実施。
2			
3			